



鶴が台

～若き心 集まる場所～ No.9

茅ヶ崎市立鶴が台中学校長 力石 裕司

中学生の「歌の力」を感じた合唱コンクール

10月31日、茅ヶ崎市民文化会館大ホールで、合唱コンクールが開催されました。開会式の挨拶で壇上から見た生徒たちは、ステージに上がる前の緊張感やわくわく感に満ちていました。どのクラスも自分たちの声を届けたいという思いが素敵な歌声となり、会場に響き渡りました。7組の発表も、練習の成果が発揮され、聴衆を感動させる素晴らしい合奏でした。開会式では、次のような内容を伝えましたが、終わってみれば、すべてのクラスから「歌の力」を感じられる素晴らしい合唱コンクールとなりました。また、中学生に何十年にもわたり歌い継がれてきた最後の3年学年合唱「大地讃頌」を歌う3年生の姿は本当に輝いていて、私にとっても11年前までの台中の教え子たちとの思い出が鮮明に蘇るものになりました。

これからもずっと歌い継がれていくことを期待しています。

各学年「最優秀」「優秀」を決めなければなりませんでしたが、どのクラスからも感動をもらいましたので、全クラスに「感謝状」を渡しました。今から卒業式の3年生の歌声が楽しみになる、そんな一日となりました。運営にご協力いただいた保護者会の皆様にもあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。



歌や音楽には「力」があります。皆さんはこれまでも、歌に励まされたり、勇気づけられたり、悲しい気持ちを和らげてもらったり、昂ぶる気持ちをさらに大きくさせたり・・・歌や音楽は、これまでも、そしてこれからも皆さんの人生の日常や大切な場面に、深く関わっていくはずです。

共に歌うことは、仲間との新たな連帯感を生み出すだけでなく、その一体感が聴き手を感動させ、忘れられない記憶としていつまでも聴衆の心に残ることもあります。

一方、世界では、今、様々な理由から、歌うこともできない人たち、さらに音楽というものさえ知らない子どもたちもたくさんいます。今日、この素晴らしいステージで「仲間とともに歌えること」に感謝し、その思いを精一杯、歌で表現してください。今日は「コンクール」ですので、当然、最優秀を争う相手があります。でも、今日は、相手に勝つためではなく、各クラスがこれまでの自分たちの歌を超え、今できる最高の合唱を作り上げるため、「歌える喜び」を感じながら、一人一人が仲間のために歌うという気持ちを忘れないでください。それができれば、きっと全クラスの合唱が、ここにいる全ての人のたちの記憶に残るものになるはず。皆さんの「歌の力」を信じています。

～中学生の活躍～ 第42回茅ヶ崎寒川地区中学校創作ダンス発表会 11月9日 寒川町民センター

コロナ禍は開催できなかったものの、40数年前から続いてきた創作ダンス発表会は今年度でその長い歴史に幕を閉じます。台中の代表として3-1の生徒6人が、台中生として最後の創作ダンスのステージに立ちました。テーマは「アイドル」！観ている方が楽しくなってしまうほどの6人の笑顔あふれるダンスは、会場に温かい空気を運んでくれました。終了後に会場の外で出迎えると、達成感に満ちた表情で輝いていました。

この「台中のアイドル」6人のダンスを全校生徒に観てもらわないと2024年は終われません・・・。



家庭部と美術部が“子ども大会 あそびのひろば”に参加しました！

10月26日、鶴が台小学校で開催された「あそびのひろば」に、家庭部が「ミサンカ作り」、美術部が「プラ板作り」のブースを出しました。会場の体育館に入ると、2つのブースに小学生を中心に多くの子どもたちが集まって、台中生の「お兄さん、お姉さん」たちに優しく教わりながら、集中して作品作りに励んでいました。運動部の活躍が注目されやすい部活動ですが、家庭部と美術部が地域の行事で活躍している姿に、とても嬉しい気持ちになりました。私も顧問の先生や生徒に促され、小さな子どもたちに交じり、美術部の生徒に一つ一つ聞きながら約半世紀ぶりの塗り絵に挑戦。後日完成したプラ板を美術部の生徒が校長室まで届けてくれました！



・・・幼少期、塗り絵が苦手だったことを思い出してしまいました。

令和6年度 全国学力・学習状況調査 回答結果の分析について

令和6年4月16日（木）中学校3年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果について、分析の概要をまとめましたので、別紙にて配付させていただきます。本調査の捉え方や目的等と併せて、本校の傾向、及び分析等を示すとともに、最後に本結果・分析を踏まえて、「学校が重点的に取り組んでいくこと」、「生徒に取り組んでほしいこと」、「保護者の皆様に協力していただきたいこと」を示しましたのでご一読ください。

なお、別紙にも示しましたが、本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているものの、全ての教科で実施しているものではないことや、出題範囲が必ずしも学習指導要領全体を網羅しているものではないことなどから、本調査結果については、生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要があります。併せて、生徒質問紙の回答傾向についても、本校の状況の一側面であることを前提に読んでいただければと思います。



そうだ、“グラウンド”へ行こう！



授業の様子・先生方のこだわりなどを発信します！

今回は3年4組 体育の授業です！単元は「球技 バースボール型 ソフトボール」で本時の目標のサブテーマは『目指せ！守備職人！』です。野球やソフトボールが未経験の生徒も先生の指示や仲間のアドバイスに真剣に耳を傾けながら、楽しく取り組む姿が見られました。生徒に「先生の授業はどう？」と聞くと、「明るい！先生が元気だから楽しい！先生は生徒思い！」などの声が返ってきました。若さも熱さも「教師の力」！これからも授業を通して台中と生徒たちをさらに元気にしてほしいと思います！

授業の様子の写真が入ります。

先生の授業へのこだわりは・・・？『生徒が頭を使いながら身体を動かす「考える体育」を目指します。毎授業の振り返りを大切に、生徒が各々の課題について考え、その解決に向けて仲間と共に取り組んでいけるような授業を心がけています。生きていく上で、様々な困難に直面しても、他者と協働し、課題解決ができる力を身に付けてほしいです。』

教頭先生のつぶやき・・・

季節や天気に関する日々のメッセージにほっとしたり、じんわりと染み入ったり・・・。皆さんは毎日、保健室前と南棟1階の2カ所に書かれているメッセージを誰が書いてくれているか知っていますか？養護教諭の吉野先生が毎日、その日の天候や健康に関するメッセージを書いてくれています。季節の変化に身体を壊さないように心がけることや愛情あふれたコメントを読むことが私の毎日の日課にもなっています。皆さんのことを気遣ってくれている方に気付ける人、感謝できる人であってほしいと思うばかりです。

